

“ふじのくに” 士民協働事業仕分け結果（事業別個表）

事業番号	15	事業名	相互理解促進フォーラム等開催事業費(多文化共生推進関連)
------	----	-----	------------------------------

1 基本情報

実施日／班名	10月15日 第3班	時間	15:35～16:15
担当課名	企画広報部 多文化共生課	事業費	1,320千円

2 判定結果

仕分け結果		県民評価者判定内訳(人)				
国・市町実施	判定区分別	行政関与不要	2			
		行政関与必要	⑮	国・市町実施	⑬	
	判定理由別	仕分け結果と同一区分を判定した県民評価者の主な判定理由内訳(人、複数回答有)	県実施	5	抜本見直し	2
					一部見直し	3
					現行・拡充	0
		・市町が実施した方が効率的・効果的			9	
		・市町でも実施できるため市町の主体性に任せるべき			7	
		・特定の地域に限定しているため市町が実施すべき			4	

3 具体的な見直し・改善策又はその他意見

<p><行政関与不要></p> <ul style="list-style-type: none"> 意識啓発は、パネルや自治会に声かけのフォーラムでは、うわべだけだと思う。実態がない。啓発は市町で充分。 もし活動するなら事業 13(外国人児童生徒トータルサポート事業費)で手の足りないところを、外国語ボランティアバンク登録者を利用したらよいと思う。 市町で行えばすむこと。 <p><国・市町実施></p> <ul style="list-style-type: none"> 各自治体と外国人のコミュニティーとをつなぐことを主に行ったほうが良いのでは。(祭り、地域の行事等) フォーラムだと決まった人たちだけの参加になり、年々意味がなくなってくるのでは。 実際に関わりあう人々の関係が良くなると意味がないのでは。 外国の人が多く住んでいる場所の行政(市町)が行うべきではないか。 この事業の始まりがわからない。 多文化共生がフォーラムやパネルで相互理解できるのか不明。学校教育の中でやっていけばよいと思う。 市町及び自治会が日常接触しているし、具体的問題も抱えているため、効果的施策ができると思う。 日常活動(ゴミ出し、古紙回収等)の中から交流が広がる。 各自治体の広報の一部利用して情報を知らせる (パネル巡回)学校～各施設 駅の構内の掲示板を利用する。

- ・ パネル展、パネルを貼るだけでは面白みもなく、興味を持ってみてもらえないのでは？もっと共生ができるよう、相互理解のためにも交流面が必要ではないかと思う。
- ・ 外国人に対しての対応は良いと思いますが、その地域によってできること、その地域特有のかかわりなどもあると思うので市町が良い。
- ・ 事業番号 13(外国人児童生徒トータルサポート事業費)と統合して、学校教育と多文化共生との縄張りを取り除ければよい。
- ・ 市町で外国人県民が多い所ではすでに対処していると思うので、そちらでまかせればよいと思う。

<県実施(抜本見直し)>

- ・ フォーラムの開催日程を休日等として参加者を県民に広げないと、自治会と行政の動員に終わってしまうのではないか。
- ・ ボランティアバンク登録者が事業番号 13(外国人児童生徒トータルサポート事業費)とどう関連しているのか、ないなら連動連携すべきではないか。
- ・ パネル展示は常設して、市町へ移管してはどうか。
- ・ パネルはホームページへアップするなどして、県民が自由に活用できるよう開放してはどうか。
- ・ 多文化共生社会の形成は重要なことである。県のこの事業は現状あまりに中途半端、おそまつでは。
- ・ 活動指標と成果指標との間に相関関係があるとは思えない。
- ・ 市町、地域社会が主体となって活動し、県は市町、地域社会、ボランティア団体等をバックアップする役割に徹すべき。あるいは、他の関連事業に吸収してもよいのでは。